

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年3月11日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから、3月11日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、3月15日の（2）ですけれども、炉安審と燃安審の合同の基本部会です。

議題は3つありまして、1つ目は安全性向上評価についてということで、今回、関西電力に取組を説明いただきまして、意見交換をするというものです。

2つ目は、原子力規制検査についてということで、先日委員会でも報告しました第3四半期の検査状況の報告をここでもするという事になります。

3つ目の議題は、1月20日の技術情報検討会の結果を報告するというものになります。

次が、3月17日の（5）、輸送容器に関する審査会合。

議題は1つです。

JAEAによる輸送物設計承認についてということで、本件は2017年に一旦承認を出しているものなのですが、その後、経年変化の評価を行った上で再度承認を求めるということになります。2月28日に申請があって、今回初会合というものになります。

次が、3月17日（6）、火山の発生メカニズムに関する意見聴取会合の2回目です。

前回、3月3日に第1回をやりましたけれども、そのときに出ていた意見も踏まえまして、規制庁として火山の発生メカニズムについての科学的、技術的知見を整理した資料をつくりまして、それについて意見を求めるというものになります。大きな異論がなければ、この2回目で一旦終了となる可能性もあります。

次が、3月18日の（7）、第1035回審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目は大間の地震動評価です。

内陸地殻内地震について、前回、11月5日のコメント回答です。

2つ目は、浜岡の敷地の地質構造ということで、前回、昨年4月2日以来ですけれども、そのコメント回答ということで、必要な現場調査なども行っているようなので1年ぶりになったというものです。

次が、3月18日の（8）、ALPS（多核種除去設備）の審査会合です。

今回で、これまで出てきたコメントに対して一通りの回答は終わると聞いています。

ただ、今回で全ての論点が終了とはならなさそうな見込みですというのは聞いています。

次が、3ページ目の(1)、3月17日に山中委員が福島第一の現地調査をします。主にALPS処理水関連を見ることとなります。現場への取材と、終了後の山中委員のぶら下がりを用意しています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—